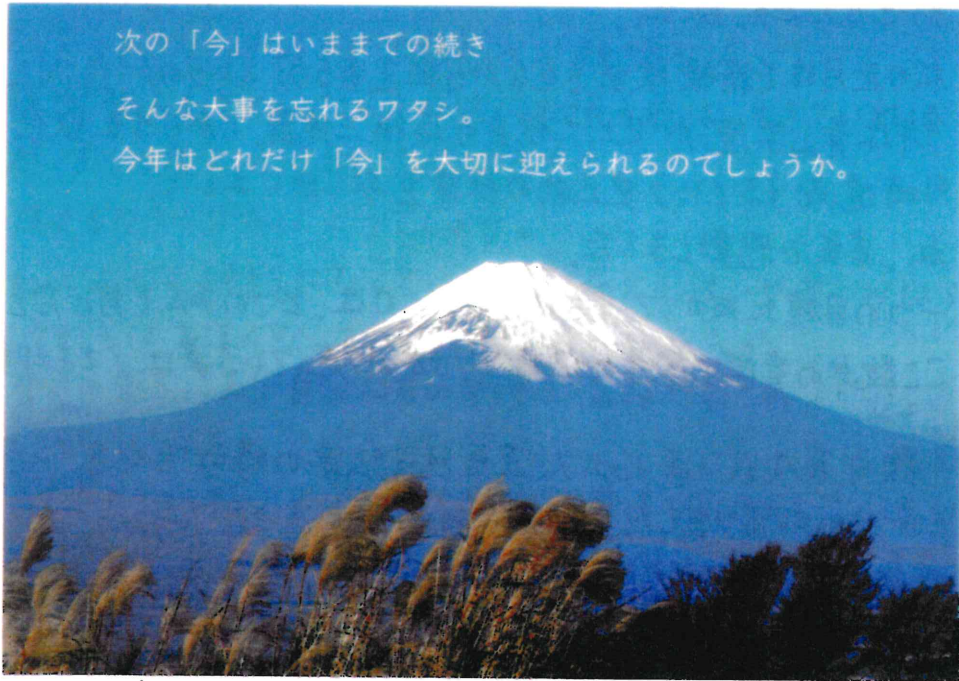


# み ゑ うゝ 有無 二十二 号

次の「今」はいままでの続き

そんな大事を忘れるワタシ。

今年はどれだけ「今」を大切に迎えられるのでしょうか。



旧年中は 源通寺の教化活動や仏事に  
ご理解とご協力を頂きましたこと  
厚く御礼申し上げます。

本年もどうぞ 宜しくお願い申し上げます。

真宗大谷派  
源通寺

2017

書き初め

留り住職の

## そらごと たわごと

2017年が始まりました。

三か日は気持ちのいい晴れの日が続きましたね。

東京の三か日は晴れていることが多いように感じますが、今年はそれに暖かさも加わりとても過ごしやすいかったです。

箱根を走った選手にはキツイ気候だったかもしれません。

ん？ 箱根？

好きなんです。駅伝。

私の正月は「箱根駅伝を見ながら餅を食う」というのが恒例なんです。今年は青山学院が史上六校目の箱根三連覇。しかも学生駅伝三冠を同時達成するという史上初の快挙を成し遂げました。

私、本気で感動しました。

一つの目標に向かって突き進んでいくのは、どこのチームも同じだと思いますが、ここ数年の青学の選手の個性と、ビロビロ走っている姿はとても印象的です。

本願寺第八代・蓮如上人五百回忌法要の時のテーマで「バラバラでいしょ」というものがありました。それから約三十年経た今も「バラバラ」ということは軽視されているように感じます。この「バラバラ」というのは個性。

生きてここにあるその存在自体がそもそも個性だということ。その個性を認め合っていけることが、浄土に生きるということであり、このテーマが示すところだと思います。

それが難しい世の中だからこそ、選手の本質を認め生かし伸ばす監督と、それに反応していく選手がいる青山学院大学陸上競技部という一つのチームの姿が、爽やかに、軽やかに、輝いて見えたのかもしれません。

最後に、私青学とは何の関係もありますが、言いたくてたまらなくなりましたので一言だけ言わせて下さい。

青山学院駅伝メンバーの皆さま「バラバラでゆうしょう」おめでとうございます！

こんな私ではありますが、本年も源通寺を宜しくお願い申し上げます。

合掌

釋祐翔

# ◆◆ 浄土和讃 五首目 ◆◆◆

しょうじょうこうみょう  
清浄光明ならびなし

くしこう  
遇新光のゆえなれば

いっさい ごうけ  
一切の業繫ものぞりぬ

ひんごうえ きみょう  
畢竟依を帰命せよ

すべての事柄の事実に出遇われた阿弥陀仏から放たれる光は、他の諸仏の光明とも比べることができません。

この光に出遇った時、自分の能力や努力ではどうにもならないことのすべてが除かれます。

ですので、信じるべき究極の依り所である阿弥陀仏を根拠としていくのです。

阿弥陀という大きなはたらきに出遇われた親鸞聖人。

そんな親鸞聖人もそのはたらきかけに出遇う前は、生きていれば当然のように起ってくる迷いの連続だったようです。

現代を生きるワタシたちはどうでしょう。

世の中がどんどん便利になっていきます。けれども迷いや苦しみは消えません。むしろ、それらは大きくなっているのではないのでしょうか。

SNSなどの普及により自分たちの日頃の悩みや苦しみも「ひょい」と誰かが答えてくれたりします。

また、AI（人工知能）という物（者？）も普及してきました。ワタシたちが分からないことをAIが解決してくれるようにもなっています。

これらがどこまで進化していくかは全く想像できませんが、「あー！君AIだったの？気が付かなかつたよ！笑」なんて時代がくるかもしれません。

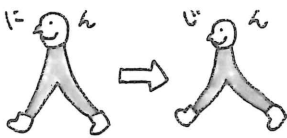
色々なものが便利になり、その恩恵を受けているのは間違いないけれども、便利になればなるほど人間の傲慢な部分が顔を出してきます。するとそれを改善しようと、進歩に拍車が掛かり、より便利にしようとしみず。

時代に寄り添うことで色々なことが発展してきました。

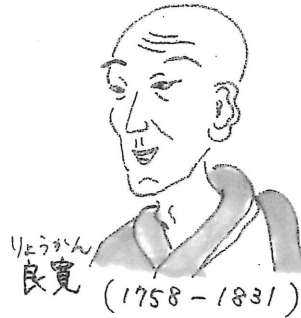
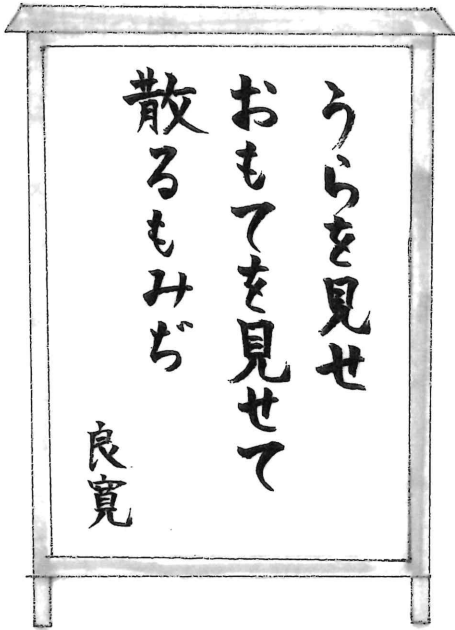
しかし、それらはワタシたちの欲の上に成り立っている事を忘れてはいけないように思えます。

親鸞聖人の和讃から聞こえてくるものは、そんなワタシたちへのメッセージなのではないのでしょうか。





# 掲示板



良寛は、江戸時代後期を  
生きた曹洞宗の僧侶。  
この句は、岡山県倉敷市に  
ある円通寺にある句碑に  
記されているそうです。

表面のツヤツヤしたところばかり見せて、ドロドロした  
部分を隠してしまうワタシ。カッコつけて、自分をよく見せ  
ながら生きてしまっているなあと思わされます。  
片側に重心をかけ過ぎるといつか大きく傾いてしまう  
ことを知りながら。  
ワタシたちは、器用であるが故に不器用を隠せてしまっ  
ているのかもしれない。

## Next Events

— 今後の予定 —

### □ 同朋の会

～仏教を語らう会～

〈日時〉 2017年 2月25日(日)

14:00～

住職による法話です。

参加自由。古聖会館にて。

### □ 春彼岸会

〈日時〉

2017年 3月12日(日)

春に開かれるお彼岸法要  
です。2017年春のお彼岸は  
3月17日(金)～3月23日(木)  
お中日は、3月20日(月)です。

### □ 花まつり

〈日時〉 4月8日(土)

お釈迦様の誕生をお祝い  
する日。誕生仏像に甘茶  
(あまぢゃ)をかけて、皆んなで  
お祝いしましょう。  
参加費無料。本堂にて。

ウム有無 22号 発行日：平成29年 1月1日 — 真宗大谷派 源通寺 —

ウム有無 とはい、むずかしい仏教のことや仏語を「ウムウム」と読んでいただけるように  
簡単にまとめた冊子です。仏教用語「有無」存在すること、しないこと、有形、無形

制作：副住職 釋祐翔  
准坊守 小笠原 沙織

東京都中野区上高田1-2-7

TEL 03-3371-8817

FAX 03-3371-8815

題字：15代住職 釋祐純

WEB① gentsuji.or.jp

(寺院用)

facebook 真宗大谷派 源通寺 x Q

WEB② gentsuji.jp

(行幸用)

👏 いいね! よろしくお願ひします!  
ゆる～く更新中ぞ

MAIL contact@gentsuji.or.jp

■ 当寺に関すること又 気になること等 ございましたら お気軽ににご相談ください。